

タイムスリップ！生バンドコンサート

- ▷日時 3月23日(土)18時(開場17時30分)
 - ▷会場 厚別西地区センター(厚別西4の4)
 - ▷対象 18歳以上 ▷費用 500円
 - ▷申込方法 3月11日(月)からセンター窓口で販売するチケットを購入
 - ▷その他 上履き持参
- 申込先** 厚別西地区センター ☎896-2000

川への雪捨てや川に近づくことはやめましょう

川に雪を捨てると流れが悪くなり、川の水があふれる原因となります。川に雪を捨てないようにしましょう。

また、川の周辺の雪や氷は崩れやすく、危険ですので、川に近づかないでください。

詳細 建設局河川管理課 ☎818-3415

平成24年度 札幌市防災表彰

～心からお祝い申し上げます～

札幌市では例年自主防災活動を推進するため、市民の模範となる活動を行った自主防災組織などを表彰しており、厚別区からは厚別西町内会連合会が表彰されました。

厚別西町内会連合会は、災害時要援護者の見守り活動や住民参加のD I G(簡易型災害図上訓練)などに積極的に取り組み、地域の絆の輪を広め、ふれあいや交流の貴重な場を作っていることや、地域に自助共助の精神が養われ、防災活動の模範となっていることが評価されました。



(左から) おさり ひでのり 長利秀則危機管理対策室長、うえまつていぞう 植松貞三厚別西町内会連合会長、あらい いさお 荒井 功 厚別区長

大震災を忘れないために…

2011年3月11日発生した東日本大震災から2年。地震や津波で多くの命が瞬時に奪われ、また原発事故も発生し、多くの方が遠方への避難を余儀なくされました。被災地から厚別区へ避難された方から、厚別区民の皆さんへ、大震災の悲しみを繰り返さないためのメッセージを語っていただきました。

一北海道へ避難することを決めた理由を教えてください。

3.11に東日本大震災が発生し、私が住んでいた福島県伊達市は原発事故による放射能汚染の可能性が高かったため、自主避難を決意しました。避難先を検討していた時、自主避難の受け入れをいち早く表明したのが北海道で、札幌への移住を決意しました。

一避難後の生活はいかがですか。

最近、ようやく普通の生活を送れるようになりました。子どもたちは環境の変化になじめない時期もありましたが今はもう大丈夫です。厚別区の皆さんはとても親切で温かい方が多く、気に掛けてくれる方がたくさんいます。地域のお祭りやイベントにも「参加してみないかい?」と声を掛けていただき、地域の一員として、普通の友達のように接してくれることに、うれしさと

東日本大震災市民支援ネットワーク・札幌むすびば
ししど たかこ
穴戸 隆子さん



2011年6月、2人のお子さんと福島県伊達市から厚別区へ避難。昨年8月、ご主人も厚別区へ移住し家族4人で生活。現在、避難者の支援活動を行う「東日本大震災市民支援ネットワーク・札幌むすびば」で活躍中。

感謝の気持ちでいっぱいです。

一被災された経験から区民へメッセージを。

東日本大震災では、地震が来たと思った瞬間、強い揺れで何もできなくなりました。あんな怖い思いをしたことはありません。目の前のことが全く信じられませんでした。

福島は地震が多いため、普段からどのように行動しなければならぬかを考えていました。避難する時に考えている暇はありません。皆さんは、避難場所を知っていますか? 何を持って行きますか? 家族はどうやって集まりますか?

札幌に大地震が来ないとは言い切れません。日頃から、もし大地震が起こったらどうするのか、少しの時間でもいいので考えておいてほしいと思います。